

2年	単 元 名	さんかくやしかくの形をしらべよう
算数		

1. 単元の目標

平面図形に進んで関わり、図形についての感覚を豊かにしながら、三角形、四角形などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解し、図形を構成する要素に着目してとらえる力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

単元の始めと最後に学校図書館資料を用いて三角形や四角形、長方形や正方形などを見つけることをとおして、構成要素に着目しながら図形を捉え直し、図形の理解を深める。

3. 授業での活用場面（ⅠⅠ／ⅠⅠ）

学習活動	学校図書館の関わり
1 単元の導入で見つけた形を思い出す ・さんかくと三角形とどっちもある ・これは 四角形ではない 2 めあての確認	・算数の学習に関する本だけでなく、折り紙の本や絵本など多様な本を準備しておく。
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 本や学校から「三角形」や「四角形」を見つけよう！ </div>	
・導入で「さんかく」や「しかく」として選んでいた形をもう一度見直す。 ・学校の中にある三角形や四角形をさがす。 3 ふりかえり ・最初にみつけた「さんかく」や「しかく」の中には「三角形」や「四角形」ではなかったものがある。 ・身の回りにも三角形や四角形があることに気づく	・導入で準備した資料と同じものを準備し、その際子どもたちが見つけた「さんかく」や「しかく」がわかるようにしておく。

4. 考察（成果や課題等）

・学校図書館の資料から「三角形や四角形」を見つけ出すことで、驚きや発見がたくさんあった。この活動をおして自分たちの身近なところにたくさん三角形や四角形があることに気づき、「かたち」がより身近なものになった。
 ・単元の始めと終わりに同じ資料を扱い、形を見直す活動を取り入れたことで、「三角形」「四角形」の構成要素を意識するようになり、図形の理解が深まった。